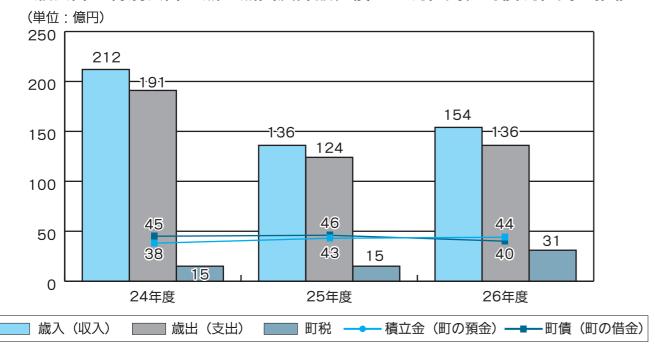


平成 26 年度に完成した小松橋

一般会計・特別会計 歳入歳出決算額、積立金現在高、町債現在高の推移



一般会計・特別会計 歳入歳出決算額、積立金現在高、町債現在高の推移

(単位:億円)

(TE: NOI)					
	歳入 (収入)	歳出 (支出)	町税	積立金 (町の預金)	町債 (町の借金)
24年度	212	191	15	38	45
25年度	136	124	15	43	46
26年度	154	136	31	44	40

〈金額は全て千円以下を切り捨てて表示〉

町民1人当たりの金額			
歳入	299万円		
歳出	264 万円		
預金	85 万円		
借金	77万円		
平成 27 年 10 月 1 日	人口 5,136 人で		

平成26年度歳入・歳出決算額

〈金額は、全て千円以下を切り捨てて表示しています。〉

	会 計 名	決 算 額		収入未済額	ではの出泊
	云 ii fi	歳入(収入)	歳出(支出)	(税金等の滞納)	採決の状況
	一般会計	128億 226万円	114億 264万円	2億4505万円	全員賛成で認定
	国民健康保険	10億4262万円	9億9780万円	7608万円	"
特	土地開発事業	8億2862万円	5億3700万円	0円	"
別	公共下水道事業	2億4356万円	2億3977万円	427万円	"
	農業集落排水事業	2958万円	2693万円	142万円	"
会	介 護 保 険	4億9986万円	4億5750万円	326万円	"
計	後期高齢者医療	1615万円	1587万円	11万円	"
	小 計	26億6039万円	22億7487万円	8514万円	
	合 計	154億6265万円	136億7751万円	※3億3019万円	

※国庫補助金と県補助金の翌年度繰越事業に充当する1億122万円が含まれています。

※危険信号

この基準を超えてしまうと、早期健全 化団体となり、財政健全化計画を策定し、 自主的に財政の早期健全化に向けた取り 組みを行わなければなりません。

平成26年度決算

4つの健全化判断比率でチェック

指標	内 容	広野町	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	15%
連結実質赤字比率	全ての会計の赤字の割合	赤字なし	20%
実質公債比率	年間の借金返済額の割合	10.7%	25%
将来負担比率	負担比率 将来負担が見込まれる負債の割合		350%

※将来負担額を充当可能財源等が上回るため、「一」と記載しています。



起立による決算認定の様子

は良好とされています。準を超えておらず、財政状況す指標は、いずれも危険な基広野町の財政の健全性を表



